

平成25年4月24日
資料提供先 福山市市政記者クラブ
尾道記者クラブ
三原新聞記者クラブ

「一般国道2号三原バイパス の整備効果を取りまとめました」

一般国道2号三原バイパスの全線開通（平成24年3月31日（土））から1年が経ち、一定の利用が定着し、全線開通による整備効果が確認されましたので、この度整備効果を取りまとめたのでお知らせいたします。

■ 国道2号（現道＋三原バイパス）の利用状況

①バイパス利用が定着

三原バイパスが全線開通後1年経ち、バイパス利用の交通が定着しました。
国道2号（現道＋三原バイパス）の約5～6割がバイパスを利用しています。
今回開通区間：14, 100台（約5割）

②大型車の大半がバイパスを利用

国道2号の大型車交通の約8割が三原バイパスを利用しています。
これにより市内の交通環境が改善されました。
今回開通区間：6, 600台（約8割）

■ 整備効果

①三原市内の通過時間が短縮

三原バイパスの全線開通により、通過時間が半減しました（24分→12分）。
沿線住民に行ったアンケート調査では約5割以上の方が「通勤・通学がしやすくなった」と回答しています。

②三原市内の交通事故が大幅に減少

三原バイパス全線開通により、三原市内の交通事故が半減しました。
三原バイパス開通前 146件 ⇒ 全線開通後 70件 【約5割減少】
また、歩行者・自転車との死傷事故件数が半減しています。（30件→16件）

③三原市中心部の渋滞が解消

三原バイパスが全線開通したことにより、三原市中心部の渋滞が解消しました。
沿線住民に行ったアンケート調査では約8割の住民の方が「市内中心部の交通が円滑になった」と回答されています。

④災害・救急医療に対する安心感が向上

三原バイパス全線開通し、国道2号の代替性が確保され、信頼性の高い幹線道路ネットワークが完成しました。
沿線住民に行ったアンケート結果では約5割の方が「安心感が向上した」と回答されています。

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 さわぐち としま
沢口 俊樹

【担 当】調査設計第二課長 ひらにし くひろ
平西 邦裕

TEL(084) 923 - 2620(代表) FAX(084) 923 - 2517

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

平成26年度全線開通に向け、尾道松江線を整備中！

三原バイパス 整備効果資料

三原バイパスの整備概要(P. 2)	
利用状況	三原バイパスを利用する交通量が定着(1年後の交通量:全車両)(P. 3)
	三原バイパスを大型車の7割超が利用(1年後の交通量:大型車)(P. 4)
整備効果	三原バイパス整備前と比べ、通過時間が約12分短縮(P. 5)
	三原バイパス整備前と比べ、三原市内の交通事故が約5割削減(開通1年後の事故状況)(P. 6)
	三原市内の渋滞が解消(開通1年後の渋滞状況)(P. 7)
	災害や救急医療に対する安心感が向上(P. 8)

みはら
～三原バイパスの概要～

- 三原バイパスは、国道2号の渋滞を緩和し、三原市内の渋滞解消を目的とした延長9.9kmの道路です。
- 平成10年度から段階的な開通を経て、平成24年3月31日に「糸崎ランプ～時広ランプ間」が開通し、全線開通しました。



いっばんこくどう ごう みはら 一般国道2号三原バイパス	
区間	ひろしまけん みはらし いとさき はつちょうめ (起点) 広島県三原市糸崎八丁目 ひろしまけん みはらし しんくらちょう にちょうめ (終点) 広島県三原市新倉町二丁目
延長	L=9.9km
道路規格	第3種 第1級
設計速度	80km/h
車線数	暫定2車線

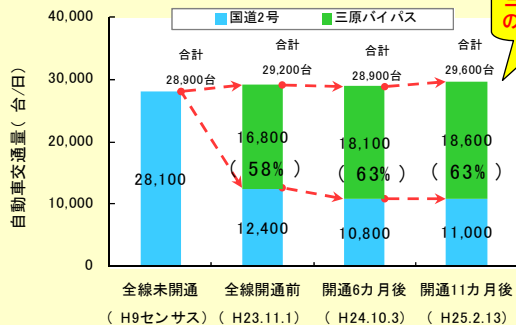


～三原バイパスへの交通転換が定着!!(全車両)～

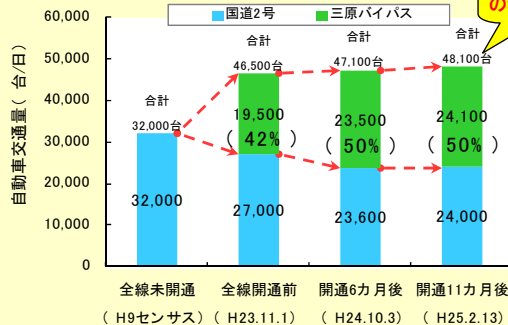
- 平成24年3月開通区間の交通量は約14,100台/日であり、国道2号(現道+三原バイパス)利用交通量の約5割が三原バイパスを利用しています。
- 全線開通により三原バイパスへの交通転換が定着し、既開通区間も含め約5～6割が三原バイパスを利用しています。



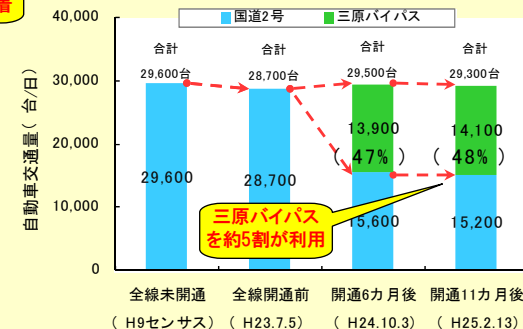
C-C'断面:全車両



B-B'断面:全車両



A-A'断面:全車両

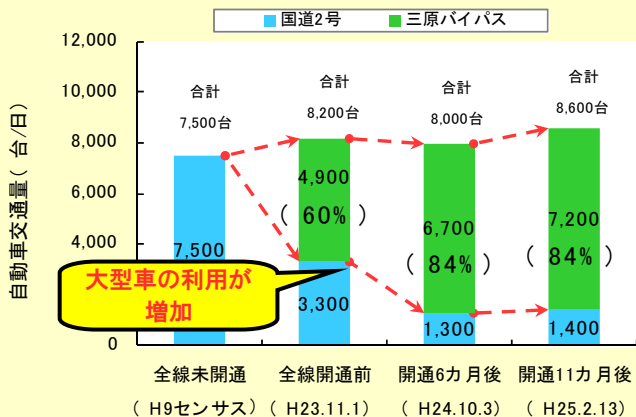


～大型車の大半が三原バイパスを利用～

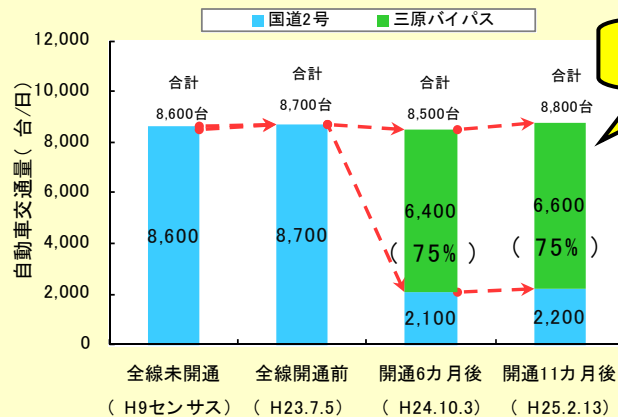
- 三原バイパスの全線開通により、国道2号の大型車交通の約8割が三原バイパスを利用しています。
- 大型車の大半が三原バイパスに転換したことにより、現道(国道2号)沿線の環境改善や歩行者などの道路利用者の安全性が向上しています。



B-B' 断面: 大型車



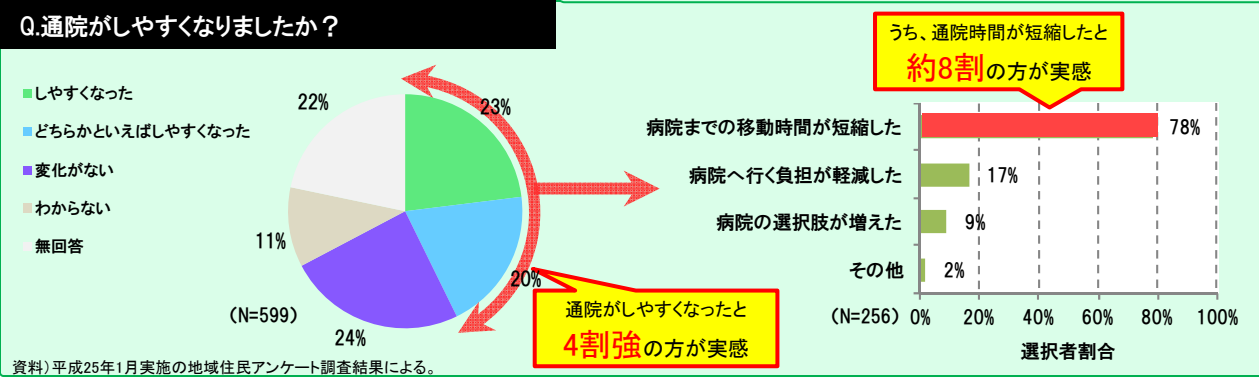
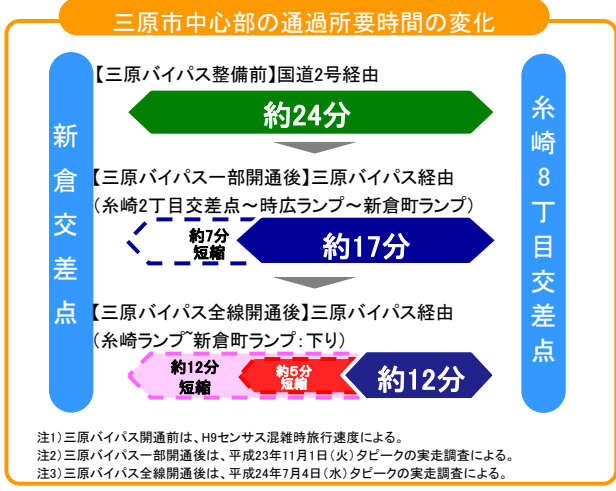
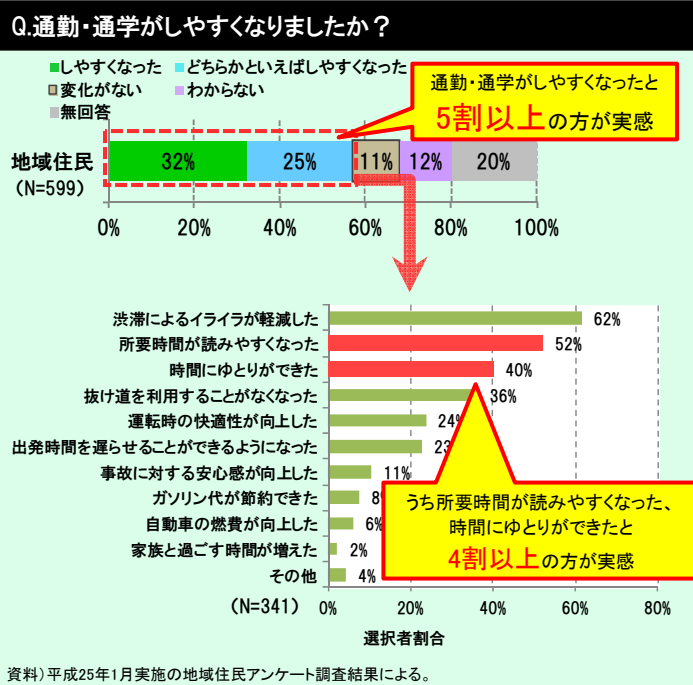
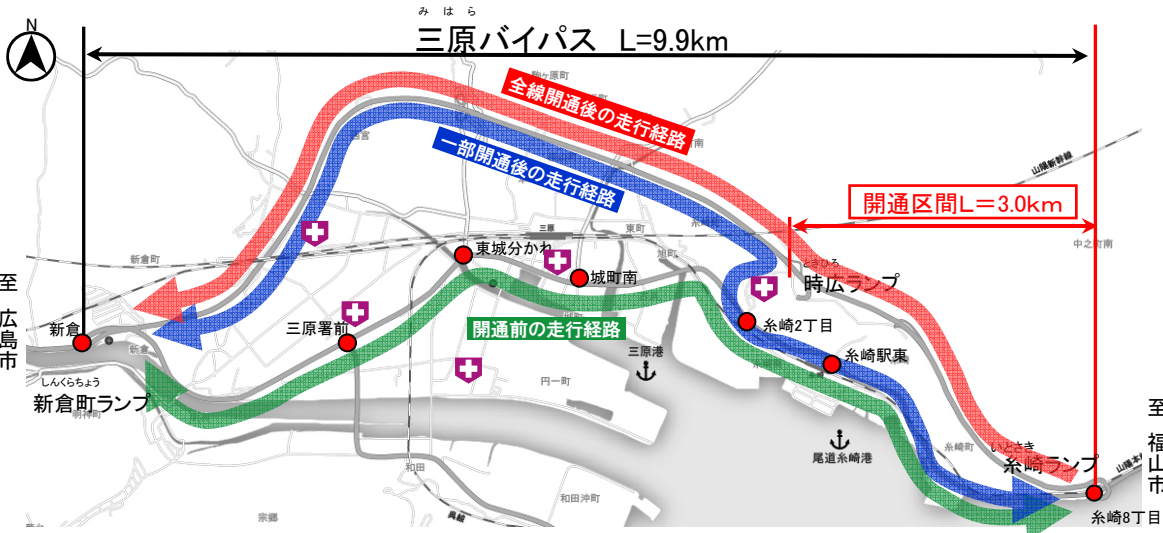
A-A' 断面: 大型車



大型車24時間利用率

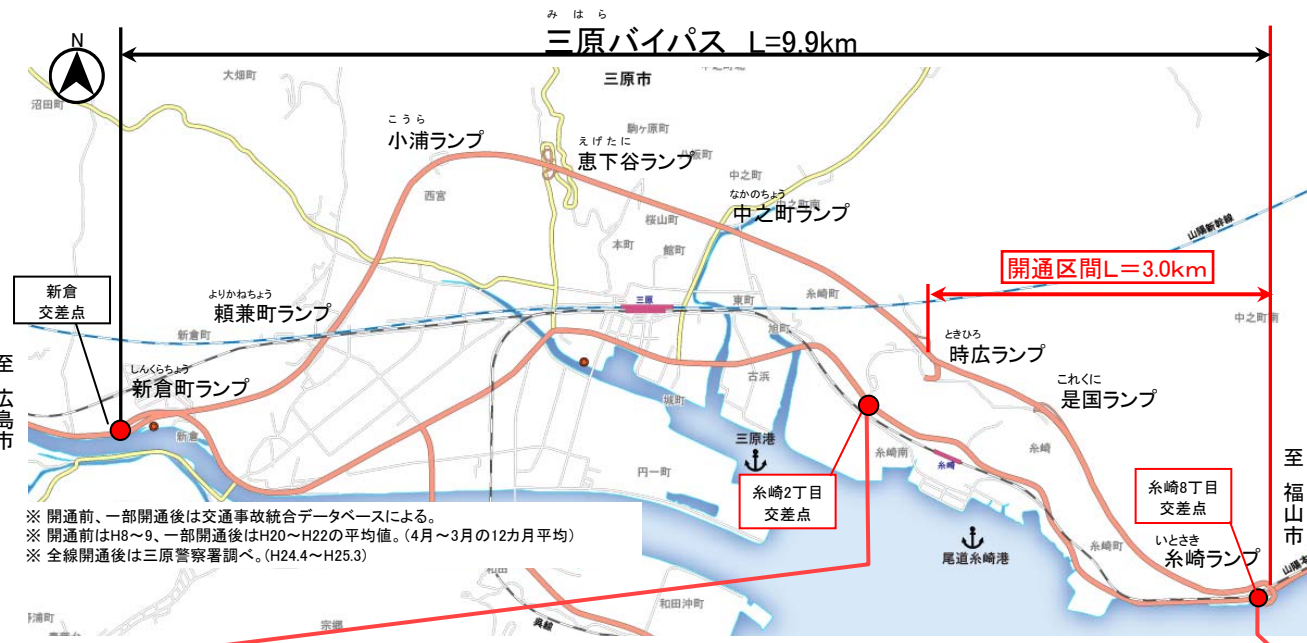
～所要時間短縮・定時性向上による日常生活の利便性が向上!!～

- 三原バイパス全線開通により、三原中心部の通過所要時間は約12分短縮し、整備前に比べて所要時間が半減しました。
- この結果、通勤・通学がしやすくなったと5割以上の方が感じており、「所要時間が読みやすくなった」、「時間にゆとりができた」と実感しています。
- また、4割強の方が通院がしやすくなったと、様々な変化や効果を実感しています。

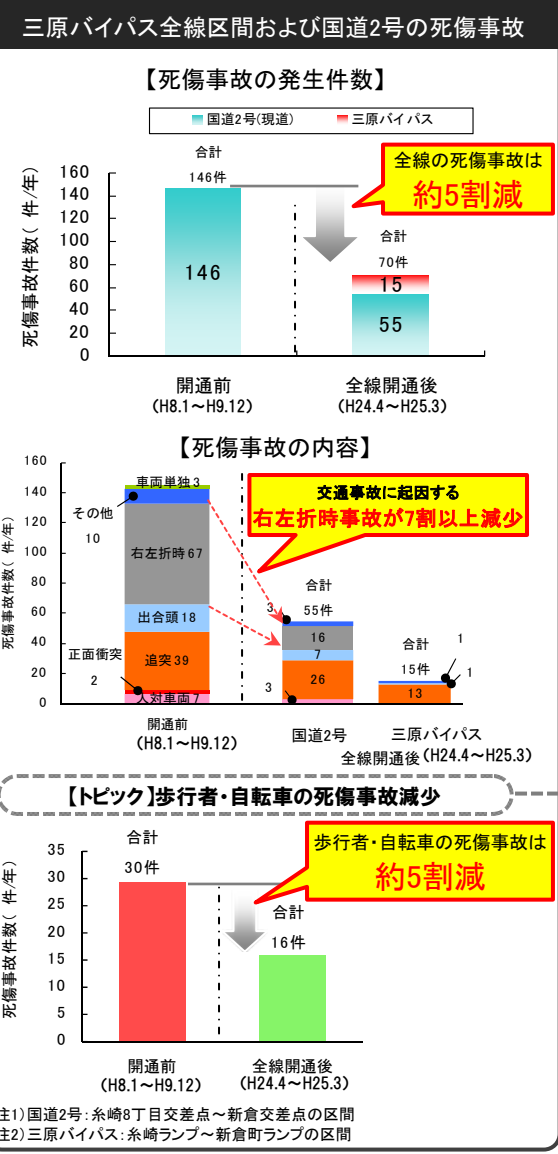


～交通事故が半減!!～

- 三原バイパスの全線開通により、死傷事故件数が**5割以上削減**しました。
- 特に現道においては、**約6割削減**しており、歩行者・自転車との死傷事故件数が**半減**しています。

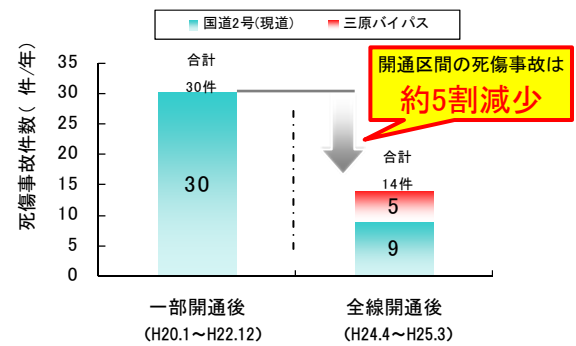


※ 開通前、一部開通後は交通事故統合データベースによる。
 ※ 開通前はH8～9、一部開通後はH20～H22の平均値。(4月～3月の12カ月平均)
 ※ 全線開通後は三原警察署調べ。(H24.4～H25.3)



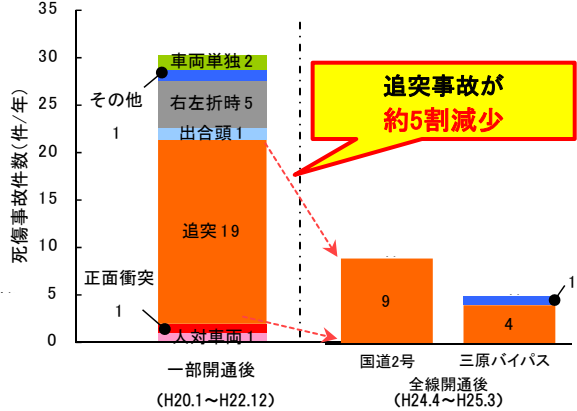
今回開通区間および国道2号の死傷事故

【死傷事故の発生件数】



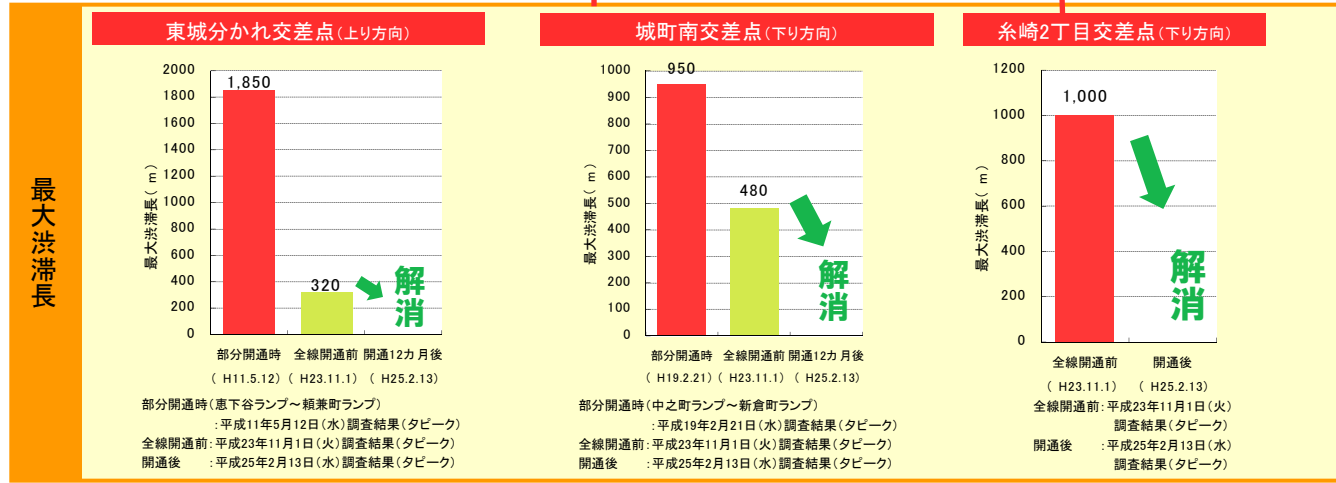
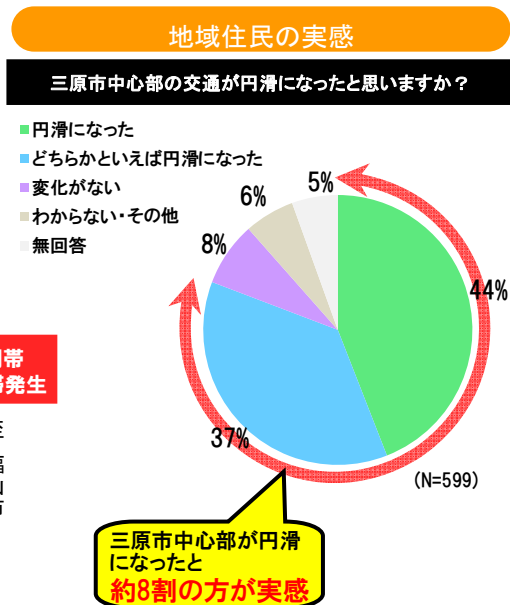
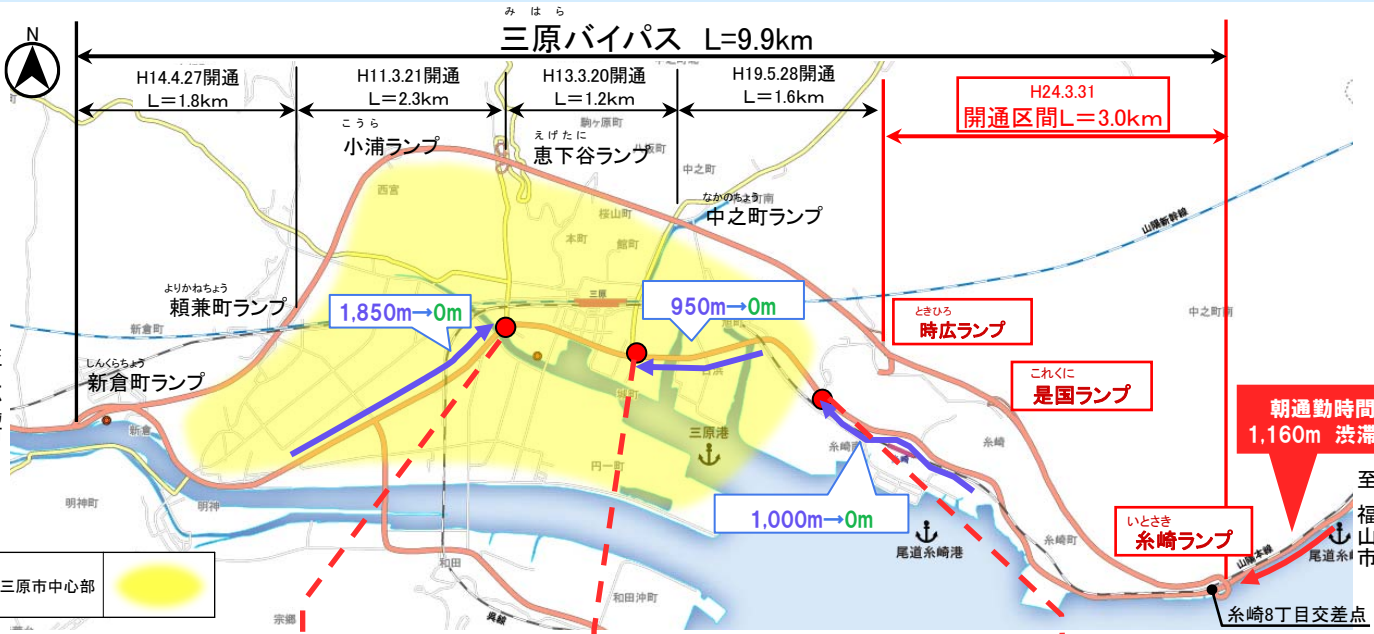
注1) 国道2号: 糸崎8丁目交差点～糸崎2丁目交差点の区間
 注2) 三原バイパス: 糸崎ランプ～時広ランプの区間

【死傷事故の内容】



みはら
 ~三原市中心部の渋滞が解消!!~

- 三原バイパスに並行する国道2号の渋滞は、ほぼ解消しました。なお、糸崎8丁目交差点では朝の通勤時間帯で約1,200mの渋滞が発生していますが、現在、信号サイクルの見直しや木原道路整備など改善に向けて取り組んでいます。
- 国道2号の渋滞が解消したことにより、地域住民の方の8割が、「三原市中心部の交通が円滑になった」と実感しています。



資料)平成25年1月実施の住民アンケート調査結果による。



住民アンケート実施範囲

～災害や救急医療に対する安心感が向上!!～

- 三原バイパス開通前は市内を横断する幹線道路は国道2号しかなく、事故や豪雨等で通行止めになれば、代替路線がありませんでした。
- 三原バイパス開通により、**信頼性の高い幹線道路ネットワークとして、国道2号の代替路が確保されました。**

国道2号の代替路として機能

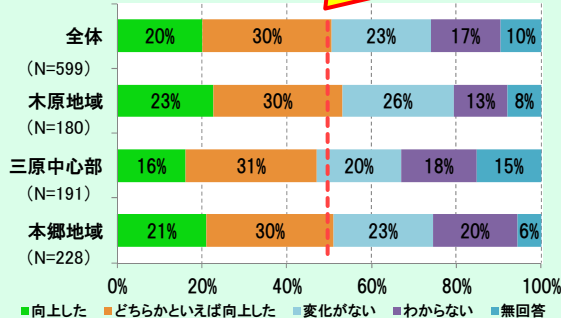


平成16年度 台風18号
三原市内被災状況



代替路の確保による安心感の向上

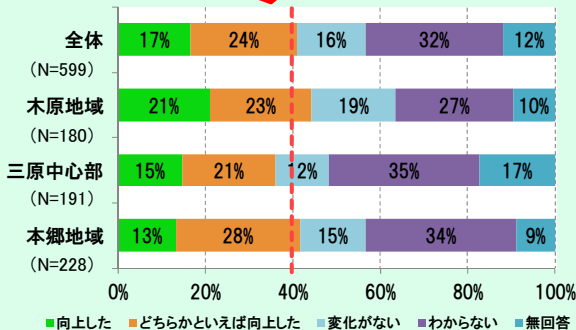
約5割の方が
代替路確保に対する安心感が向上したと実感



資料) 平成25年1月実施の住民アンケート調査結果による。

救急医療に対する安心感向上

約4割の方が
救急医療に対する安心感が向上したと実感



資料) 平成25年1月実施の住民アンケート調査結果による。

国道2号の渋滞状況

